

人の力を伸ばす環境づくり

カシオは、社員を大切に育て、実力ある人が力を発揮できるよう、仕組みを整えています。



地域社会とともに歩むタイの職場環境

カシオタイは、タイの労働省が主催する「労使関係・福利厚生における優良企業賞」を2006年度から4年連続で受賞しています。この賞は、労働法の遵守、労働組合や従業員との良好な関係、福利厚生などの側面から、雇用体制が優れている企業に与えられる

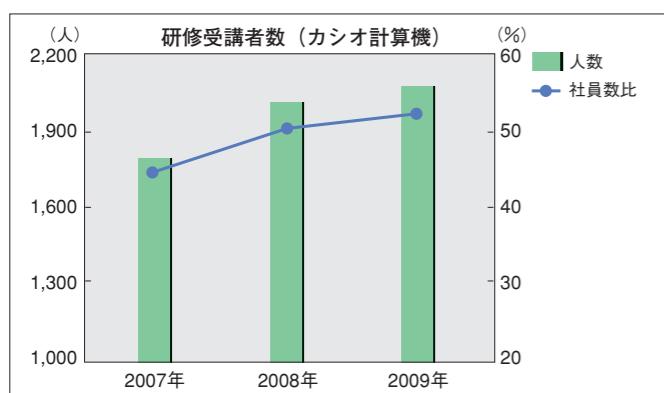
ものです。

従業員のほとんどが現地住民のカシオタイは、日頃から近隣のイベントに参加するなど、地域社会への貢献活動も積極的に行い、地域に根差したグループ企業です。

2009年度は、労働環境以外に、孤児院や病院への寄付、近隣学校のイベント支援なども高く評価され、受賞につながりました。

充実した社員教育

カシオでは挑戦の意志溢れる人材の育成に積極的に取り組んでいます。充実した社内のキャリア育成制度は、社員の目指すキャリアに合わせた選択可能な制度を多数用意し、さまざまな挑戦を可能にしています。



新入社員研修／フォロー研修／キャリア開発研修

若年層社員向けの各階層別研修であり、カシオ社員としての基礎を学ぶ場であるとともに、自己のキャリア方向性を考える機会として、入社時・1年後・3年後にそれぞれ実施しています。

スキル選択型研修

一般社員全般を対象として、業務遂行に必要な多様なスキルを効果的かつ効率的に体得することを目的として制定したもので、さまざまな研修コースから必要なものを選択して受講できる研修体系です。

先端技術セミナー

主に技術者に対して、革新的な製品開発・事業創造を成し遂げた他社イノベーターの事例講演を通じ、先端技術動向やトレンドの理解と、開発マインドの高揚・挑戦意欲の醸成を目的とした社内セミナーです。

■ワークライフバランス

カシオでは、多様なライフスタイルやライフステージに応じた希望を実現できる職場作りに努めています。従業員の声を参考にしながら育児や介護などの家庭の事情や女性の就業にも配慮した支援制度の充実に取り組んでいます。カシオ計算機では、出産を機に育児休業を取得する女性従業員は、2006年からの3年間で9割を超えています。

また、働き方の見直しと生産性向上を目的に「時間外ゼロ運動」も実施しています。

次世代認証マーク（愛称「くるみん」）＊

＊厚生労働省から仕事と家庭の両立を積極的に支援する企業に与えられる。



■役割/成果主義に基づく人事制度

カシオの人事制度体系は「格付制度」「評価制度」「待遇制度」の3つから成り立っています。

「格付制度」は人事制度のベースです。昇格に向けて研修や面接などを実施し、十分な育成機会としています。

「評価制度」は、目標管理による目標達成度評価、職種別の仕事ぶり評価、部門への貢献度評価の観点から5段階評価を行い、上司との面談による納得性の高い運用に努めています。

「待遇制度」は競争力のある給与を方針にしています。家族や住居などへの手当を基本給に組み込むことで「役割／成果主義」を徹底しています。

■多様な人材が活躍できる職場づくり

社員がより一層の力を発揮できる環境の整備や仕組みの構築を進めることにより、より多くのプロフェッショナルな社員を育成し、ひいては会社全体の生産性向上を目指しています。その取り組みの一環として、2008年4月より「女性活躍促進ワーキンググループ」を設置し、女性社員のさらなる活躍促進、そして働きがいのある会社の実現に向けて、積極的な活動を進めています。

障害をお持ちの方でも、一人ひとりの能力・適性を最大限に発揮できるよう、環境整備を進め、積極的に採用しています。

また、高齢者雇用への取り組みとして、定年退職する従業員に対する就業機会の提供と蓄積したスキル・ノウハウのグループ内有効活用を目的として「カシオ・シニアスタッフ・プログラム」、「シニア社員制度」を国内の全グループで導入しています。



女性活躍促進ワーキンググループ活動

■社員の健康を増進する

健康管理活動

定期健康診断でも法定項目以外に、健康保持、生活習慣病予防のための項目を多数追加しています。主要事業所に産業医を増員・配置し、定期健診後の保健指導など、きめ細やかな健康管理活動を展開しています。

ウォーキングキャンペーン

生活習慣病予防として「運動」と「食生活」に焦点をあて、秋には「ウォーキングキャンペーン」を各地で実施。2009年度は3,516名が参加しました。従業員の家族も含めて、運動による健康増進の機会を提供しています。

健康応援フェア

社員食堂では、カロリー・栄養バランスを考慮した「ヘルシーメニュー」を随時提供する健康応援フェア（ウェルネスフェア）を開催しています。メニューに関する方針は各事業所の社員や医療スタッフなどで構成される「食堂会議」で決められています。

